

目次

(148) 共用品推進機構関連記事

- ▽「共用品の話 5 ポストに入ってくるモノ／星川安之」
- ▽「モノごころ人語り 元は玩具、病院でニーズ／星川安之」
- ▽「利用者のイメージ、幅広く持って／星川安之」
- ▽「ブログを更新しました！」

(149) 新刊紹介

- ▽『発達障害事典』
- ▽『大きな字でわかりやすいパソコン入門 ウィンドウズ 10 対応版』
- ▽『算数授業のユニバーサルデザイン指導技術編
4つのしかけ・60のアイデア』
- ▽『気になる子どもみんないきいき保育
ここからはじめよう、幼稚園の特別支援教育』
- ▽『「合理的配慮」とは何か？ 通常教育と特別支援教育の課題』
- ▽『療育なんかいらない！
発達障害キッズの子育ては、周りがあわせたほうがうまくいく』
- ▽『ASD (アスペルガー症候群)、ADHD、LD 女の子の発達障害
思春期の心と行動の変化に気づいてサポートする本』

(148) 共用品推進機構関連記事

▼「共用品の話 5 ポストに入ってくるモノ／星川安之」

1993年に目の不自由な人たちに行った「不便さ調査」では、多くの不便さが明らかになりました。「自宅のポストに配達される郵便物、不在通知などの区別が困難」は、数多く寄せられた不便さのひとつですが、これを受けて静岡県では、県のマークを封筒に印刷していましたがこれを凸線にしました。また宅配便の「ご不在連絡票」、これも目の不自由な人たちには識別する

ことができませんでした。そのことを知ったヤマト運輸では、ネコの耳型の切欠きを側面につけ、触って他と識別できるようにしたのです。日本郵便でも連絡先等を点字で表示したり、郵便はがきの表面左下部に半円形のくぼみを入れ、上下・表裏が分かるようにした「くぼみ入りはがき」を販売しています。

そうして識別できた封筒ですが、中身を読むことも困難です。そんな時、書類をファクシミリで目の見える親しい人に送りその後電話をし、相手に読んでもらうというワザを使っている人もいます。

不便な事は、より多くの人たちで情報共有する事で、解決への叡智をより多く集めることができます。

(文藝家協会ニュース 2016年10月号より抜粋)

▼「モノごころ人語り 元は玩具、病院でニーズ／星川安之」

日本では最近、駅や空港、銀行、百貨店などの窓口に「筆談器あります」の表示が増えてきている。

耳が不自由な人や声を出すことが困難な人、言語が異なる人が各施設の窓口でものを尋ねるとき、便利に使われている。この筆談器、元は幼児用のお絵かき玩具だった。

ある日、メーカーに看護師から問い合わせがあった。「入院している高齢の女性は声が出なくなったため、御社の玩具で筆談をしています。ただ、A3サイズでは大きすぎる。色がもう少しシックになれば…」

担当者は病院を訪ね、詳細を聞くとともに他の病院へも出向き、同じニーズがあることを確かめた。それから1年後、大きさはB5サイズ、色は薄い青の商品が店頭に並び、他社製品の先駆けとなった。

一般社団法人日本玩具協会は、目の不自由な子供も共に遊べるおもちゃを「共遊玩具」と名付け、パッケージには盲導犬のマークを表示していた。

そこに、耳の不自由な子供たちも一緒に遊べる玩具の第一号として、この玩具が加わった。こちらのパッケージには「うさぎ」のマークが表示され、消費者や販売する玩具店の人にその意味を伝えている。

(日本経済新聞 11月5日8面より抜粋)

▼「利用者のイメージ、幅広く持つて／星川安之」

4月に施行された「障害者差別解消法」では、人的及びコストに大きな負担のかからない配慮を合理的配慮と称し、公的機関には義務、民間機関には

努力義務として行うことを推奨しています。

合理的配慮とは、個人の異なるニーズに対してその個人にあった配慮を行うということです。

バリアフリー新法では、施設の入り口にスロープを付けることを義務付けており、車椅子使用者でもアクセス可能になりました。けれども、基準通りに設置されていても、自力では乗降ができない人がいます。

そうした場合に登場するのが「合理的配慮」です。機器の設置が困難な場合は、恐らく人的対応が合理的配慮になります。配慮を受ける側の人たちの中には、なるべく人の力を借りずに生活がしたいと考えている人も多くいます。そこで重要なことは、不特定多数の人が利用する施設で、機器や製品を導入する時、それらが不特定多数の人に使えるかを確認することです。

例えば、自動販売機を導入する場合、車椅子使用者が使えるようなボタンや取り出し口の位置になっているかなどがチェック事項になります。合理的配慮は、難しいことではなく、利用者がどのような人かを知れば、おのずと答えは導き出されてくるものです。

(エルダリープレス 11月15日16面より抜粋)

▼「ブログを更新しました！」

・日本点字図書館 オープンオフィス
共用品ニュース (ブログ) <http://www.kyoyohin-news.org/>

(149) 新刊紹介

▼『発達障害事典』

知的障害のない発達障害を中心に、理論的な事項から実践的・応用的な事項まで各項目を見開き2ページで、図表や写真なども用いて解説する。関係法令、諸外国での特別支援教育の現状も掲載。

編：日本LD学会

発行：丸善出版

本体価格：20000円(税別)

ISBN：978-4-621-30046-6

▼『大きな字でわかりやすいパソコン入門 ウィンドウズ 10 対応版』

基本操作から、キーボードでの文字入力、インターネット、メール、アプリ、ファイルとフォルダーのしくみ、写真の楽しみ方まで、パソコンの使い方を大きな字でわかりやすく解説します。ウィンドウズ 10 対応。

著：AYURA

発行：技術評論社

本体価格：980 円（税別）

ISBN：978-4-7741-8431-9

▼『算数授業のユニバーサルデザイン指導技術編

4つのしかけ・60のアイデア』

算数科の特性に合ったユニバーサルデザインの授業を提案。子どもが「わかる」ための指導法や、どの子ども「できる」ための手立て、「そろえて」差を埋める環境&授業づくり、子どもの立場に「よりそう」授業デザインを紹介する。

著：志水廣（しみず・ひろし）大羽沢子（おおば・さわこ）

発行：明治図書出版

本体価格：1900 円（税別）

ISBN：978-4-18-255027-0

▼『気になる子どもみんないきいき保育

ここからはじめよう、幼稚園の特別支援教育』

落ち着きのない子、一人でいる子、ゆっくりな子…。配慮を要する子どもたちのよくあるシーンを取りあげ、それぞれの個性を理解した保育と特別支援教育の具体例を、マンガやイラストを交えてわかりやすく紹介する。

著：星山麻木（ほしやま・あさぎ）武蔵野幼稚園

発行：河出書房新社

本体価格：1600 円（税別）

ISBN：978-4-309-24778-6

▼『「合理的配慮」とは何か？ 通常教育と特別支援教育の課題』

「合理的配慮」は、特別支援教育に革命をもたらす潜在力。学校現場での特

別な措置としての合理的配慮や、通常教育における病弱教育と合理的配慮などさまざまな課題を論じる。政府の基本方針なども収録。

著：清水貞夫（しみず・さだお）西村修一（にしむら・しゅういち）

発行：クリエイツかもがわ

本体価格：2000 円（税別）

ISBN：978-4-86342-1974

▼『療育なんかいらない！

発達障害キッズの子育ては、周りがあわせたほうがうまくいく』

「子育ての常識」は、すべて疑ってみる！自閉症の息子を育て、川崎市で発達障害の子のための放課後デイサービスを運営する著者が、発達障害の子の保護者が陥りがちな悩みや常識を根底から覆す。

著：佐藤典雅（さとう・のりまさ）

発行：小学館

本体価格：1200 円（税別）

ISBN：978-4-09-310853-9

▼『ASD（アスペルガー症候群）、ADHD、LD 女の子の発達障害

思春期の心と行動の変化に気づいてサポートする本』

思春期を迎える発達障害/ASD（アスペルガー症候群）、ADHD、LD の女の子を理解するための書。家庭や学校での対応策や適切な支援から将来の進路までをやさしく解説する。チェック欄あり。

監修：宮尾益知（みやお・ますとも）

発行：河出書房新社

本体価格：1400 円（税別）

ISBN：978-4-309-24786-1

（編集後記）

10月28日に経済産業省で二つのJIS規格の審議が行われ、承認されました。
JIS T 0921 アクセシブルデザイナー—標識、設備及び機器への点字の適用方法
JIS Z 8071 高齢者及び障害のある人々のニーズに対応した規格作成配慮指針
T 0921 は新たに国際規格が制定され、Z 8071 は国際規格が改訂されたため、

どちらも国際規格との整合性を合わせるために改正を行いました。これらの国際規格は元々、日本から作成を提案して、制定されたものです。

規格作成には、多くの方々のお力をいただいております。事務局として、国内外を問わず、必要とされるアクセシブルデザイン関連規格が増えていることに、心より感謝申し上げます。(金丸淳子)

共用品推進機構公式サイト <http://www.kyoyohin.org/>

共用品ニュース (ブログ) <http://www.kyoyohin-news.org/>

共用品推進機構公式 Facebook <https://www.facebook.com/kyoyohin/>